

畜産情報ノート

第8号

令和7年8月29日

島根県畜産技術センター

〒693-0031 島根県出雲市古志町 3775

URL=<https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/chikusan/>

今
号
の
内
容

トピックス

●気高系種雄牛「忠白隆」号の育種価が判明しました！

●令和7年度（後期）新規交配種雄牛

技術情報

●第13回北海道全共肉牛区の候補牛生産・育成について

お知らせ

●畜産技術セミナー“牛・味・知の体験会”の開催について

トピックス

気高系種雄牛「忠白隆」号の育種価が判明しました！ ～枝肉重量1位、バラ厚1位、総合評価3位～



令和7年6月に、「忠白隆」号の育種価が判明しました。枝肉重量およびバラの厚さで1位、総合評価で3位と非常に高い能力であり、7月に供用種雄牛に選抜されました。

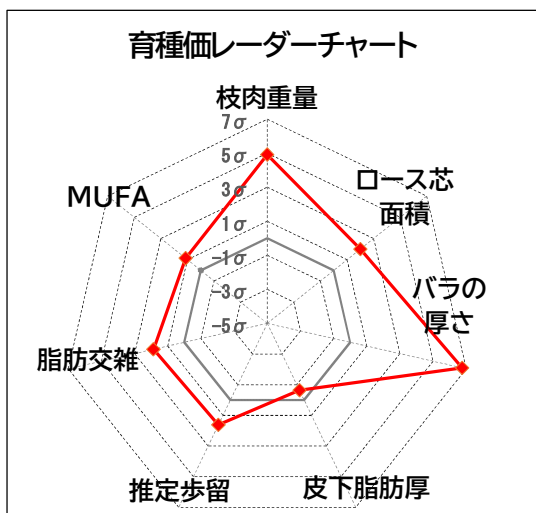
2月の枝肉成績判明後、すでに県内へ多くの精液を供給しています。

忠白隆号の育種価(令和7年6月評価)

枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	脂肪交雑	MUFA	総合評価
177.924	27.720	3.485	-0.115	4.009	3.300	1.652	10.651
S	A	S	C	A	A	A	(3位)

※順位は、島根県で評価した全国の種雄牛448頭中の順位

総合評価は、枝肉重量、脂肪交雑およびロース芯面積の標準化育種価(σ値)を1:2:1で重みづけした評価値です。



本牛の母「ふくしらきよ」は、隠岐島前地域で代々、大切に保留されてきた繁殖および子育て能力に秀でた希少系統「かわまさ系」の流れを汲む雌牛です。

本牛は血統構成に「安福久」を含まないため、「久茂福」などの兵庫系や、県内で保留の進んでいる「暁之藤」などの系桜系の繁殖牛への交配が推奨されます。ただし、大型の産子が発生する可能性があるため、初産牛や小柄な雌牛への交配は留意してください。

令和7年度（後期）新規交配種雄牛 ～ご協力をよろしくお願いします～

令和7年度第1回島根県改良推進委員会において、今年度後期の新規交配種雄牛2頭が決定しました。しまね和牛の将来を担う種雄牛造成のために、皆様のご協力をよろしくお願いします。

10月交配 暁芳久号

生年月日	令和6年2月3日
産地	益田市 (株)松永牧場
血統	暁之藤－芳之国－安福久
登録番号	黒原6702(84.0)



「暁芳久（あきよしひさ）」は、卓越した産肉能力を誇る県有種雄牛「暁之藤」の全国で初となる後継種雄牛です。

母「3なるせ6」号は、BMSNo. 11 と 12 の産子を生産している高能力雌牛です。

本牛のゲノム育種価は、枝肉重量、ロース芯面積、バラの厚さ、歩留基準値、脂肪交雑が高く評価されており、「暁之藤」の高い産肉能力を引き継いでいます。また、体型面では、背腰、尻幅、毛質に優れています。

交配は、気高系の「百合久勝」、「幸紀雄」、兵庫系の「久茂福」、「美津照重」などの繁殖雌牛をおすすめします。なお、大型の産子が出生する可能性があるため、初産や小柄の雌牛への交配には留意してください。

11月交配 博咲華号

生年月日	令和6年1月18日
産地	出雲市斐川町 長瀬 博氏
血統	奥華栄－百合久勝－耕富士
登録番号	黒原6719(84.4)



「博咲華（ひろさきはな）」は「百合久勝」を父に持つ高能力雌牛「ゆりひさき」に、「奥華栄」を交配し、待望の「奥華栄」後継種雄牛第1号として造成した気高系種雄牛です。

母「ゆりひさき」は、枝肉重量、ロース芯面積、脂肪交雑が高く評価される高能力雌牛です。父「奥華栄」は、育種価評価において枝肉重量、ロース芯面積、歩留基準値に優れた県有種雄牛です。

本牛のゲノム育種価はロース芯面積、皮下脂肪厚、歩留基準値、脂肪交雑に加え MUFA も高く評価されています。また、体型面では、体伸、体上線、尻幅、肋張りに優れています。

交配は、糸桜系の「福之姫」、「美国桜」、兵庫系の「久茂福」、「美津照重」などの繁殖雌牛をおすすめします。

第 13 回北海道全共肉牛区の候補牛生産・育成について

～元気で丈夫な候補牛の育成を目指して～

(肉用牛生産技術科)

令和9年に行われる第13回全国和牛能力共進会（北海道全共）肉牛区の出品にかかる肥育素牛の生産を目指し、高能力雌牛由来の受精卵の移植を推進してきましたが、8月下旬から県内各地で次々と出生します。念願の上位入賞のためには、繁殖農場においてそれぞれの産子を元気で発育良好な肥育素牛に育て上げ、肥育農場にうまくバトンを渡すことがとても重要となります。このたび、発育性の向上と胃袋づくりの面から、子牛期の飼養管理のポイントをまとめましたので紹介します。

○子牛の発達と給与飼料の考え方

胃袋（第一胃）の発達段階と、それぞれの時期での胃袋と骨格（フレーム）の発達に必要な飼料は、以下のようにまとめられます。

	生時～3 か月齢	4～5 か月齢	6 か月齢以降
第一胃の機能	未発達	発達途中	発達
第一胃の容積	未発達	未発達	発達途中
管理のポイント	第一胃の絨毛を発達させる	反芻と消化機能を発達させる	第一胃の容積を発達させる
胃袋の発達に必要な飼料	濃厚飼料（スターター）	濃厚飼料と良質な乾草	良質な乾草
骨格の発育に必要な飼料	乳（母乳、粉ミルク）	主に濃厚飼料（育成飼料）	良質な乾草と濃厚飼料

○発育ステージごとの飼料給与

1 出生時：初乳の確実な摂取

初乳は免疫力を高めるだけでなく、タンパク質や脂肪、ミネラルが多く含まれており、子牛の最初の栄養源としてもきわめて重要です。初乳を確実に飲んだかどうかで、子牛の将来が決まると言っても過言ではありません。

2 哺育期（～3 か月齢）：乳と濃厚飼料（スターター）の両輪

乳で骨格を発育させつつ、スターターで第一胃内の「絨毛」の発達を促します。2 か月齢頃から離乳に向けて母乳から固形飼料へ移行させる準備をします。スターター採食量は子牛の体重で決まるので、それまでに乳を十分飲ませましょう。粗飼料については、この時期ではまだ十分消化利用できないので、軟らかいものをごく少量、細かく切って与えます。

★哺育期の管理ポイント★

- ①病気の予防: ワクチン接種等の疾病対策を受け、呼吸器病、下痢等を予防しましょう。牛舎は清潔で乾いた状態を保ちましょう。
- ②暑熱対策の徹底: 子牛が出生する8月末から9月初めは残暑の厳しい時期です。扇風機などを利用して換気しましょう。

③秋以降は昼夜の寒暖差に注意：昼間は換気をし、風通しをよくしましょう。夜間は体を冷やさないよう、乾いた敷料を厚めに敷いておきましょう。

④寒冷時には保温対策：外気温が下がってきたら保温対策をしましょう。ジャケット、ネックウォーマーや保温器具の活用が有効です。

3 移行期（4～5か月齢）：濃厚飼料と乾草を適切に給与

乳からの栄養供給がなくなるので、固形飼料から必要な栄養を摂取できるようにします。第一胃の容積は発達途中ですので、栄養価の高い濃厚飼料を主体に給与して骨格を発育させます。粗飼料多給の管理へ移行する準備を整えるために、良質な乾草を細切して与えて、咀嚼（そしゃく）－反芻（はんすう）の機能を高めます。

4 育成期（6か月齢～）：良質乾草主体の飼養

第一胃の機能が発達し、粗飼料の栄養を消化吸収できるようになります。濃厚飼料は必要量に制限し、タンパク質などの栄養価が高く、嗜好性の良い良質な乾草を飽食させ、骨格と第一胃の「容積」を発達させましょう。腹いっぱい食べさせるために、餌箱を空にしないこと、乾草は切断して与えるなどの工夫をしましょう。

お知らせ

令和7年度畜産技術セミナーの開催について ～牛・味・知の体験会～

今年度の畜産技術セミナーは、11月25日（火）13：30より畜産技術センター（出雲市古志町）で行います。

生産者の皆様をはじめ、関係の皆様方のご来場をお待ちしております。

なお、内容／スケジュールについては以下を予定しています。

- | | |
|-----------------|-------------|
| ① 種雄牛展示【種雄牛舎】 | 13:30～14:15 |
| ② 牛肉試食【研修棟】 | 14:30～15:00 |
| ③ 研究紹介【研修棟】 | 14:30～15:30 |
| ④ 後代検定牛展示【間検牛舎】 | 15:00～15:30 |



編集後記

今夏は6月頃から急激に気温が上昇、雨の降らない日が続き、雨が欲しいと思えば、8月には天から大量の雨をいただき、毎年ながら耐え忍ぶ毎日です。動物たちも、おそらく恨めしく思っていることでしょうね。暑熱対策（もう残暑対策になりましたが）、もう少しの間、気持ちを一つにして頑張りたいところです。よって（?）、拙稿となりましたことお詫びいたします。（H）

発行 島根県畜産技術センター 〒693-0031 島根県出雲市古志町 3775

電話：0853-21-2631 FAX：0853-21-2632 Eメール：chikugi@pref.shimane.lg.jp